

㊟ 公団大島六丁目団地自治会

みんなの会報

明るい団地は あいさつから

発行 公団大島六丁目団地自治会
編集 広報部・事務局
自治会事務所:13時~17時(金・日・祝日休)
TEL:(3636)6470 FAX:(3636)6479
ホームページ:http://www.6-dan.com
メールアドレス:rokudan@road.ocn.ne.jp

1971年(昭和46年)12月5日に大島六丁目団地自治会が結成され40年がたちました。

自治会は、居住者と一緒の楽しい行事を企画いたしました。みなさんとともに40周年をお祝いしたいと思います。

◎大島6丁目団地40周年記念まつり 10月22日(土) 11時から17時

中央広場に舞台をつくり若竹太鼓、四大小の生徒さん、チアリーディング、荒馬座の演技他楽しいアトラクション、サークル他の模擬店、フリーマーケット、宮城の物産展があり、野外美術展、子供たちに楽しんでもらうためのミニ列車も走ります。抽選会も行います。また、プログラムを配布します。そこに当日の買物券(50円券4枚)が入っています。



写真は30周年記念のつどいの様子

後日、記念誌を会員の皆さんに配ります。

11月に、金券2000円分を配布します。

大島六丁目団地自治会40周年を祝う記念行事

防災訓練に参加しよう!

3月11日の教訓を無駄にしないために!

9月25日(日曜日) 午前9時より

あなたは、3月11日の東日本大震災のときに、どこにいましたか? 何をしていましたか? 何ができましたか? 関東大震災が発生したら、あなたと家族の命を守るために何ができますか?

9月25日の防災訓練では、災害発生時に何をしたらよいか、助け合い生き残るための訓練を行います。中央広場に号棟フロアを見立てたステージを造り、震災発生時に「火災が発生したときの消火」「居



5号棟北にできた防災備蓄倉庫

「団地の生活と住まいアンケート」にご協力ください

9月に『第9回団地の生活と住まいアンケート』を行います。これは民営化、売却・削減に反対し、公団住宅を守るために居住者の実態と要求を正確に明らかにすることを目的としたものです。安心して公団住宅に住み続けるためにご協力をお願いいたします。

アンケートの実施方法

1. 9月7日ごろまでに各戸にアンケート用紙と封筒を配布します。
2. 9月25日までに、1階エレベーターホールのアンケート回収ポストに入れてください。



やまびい

★今年に入ってから、『歴史上初!』の出来事が次から次へ起きています。『東日本大震災』『原子力発電所の事故』『計画停電』『厳しい節電』『アメリカ国債の格下げ』『1ドル75円台の円高』...

★今回の円高が日本を狙い撃ちのように、震災後の復興の回復過程にある各企業の業績に悪い影響を与え、国内製造業の空洞化を招き復興そのものを遅らせかねない状況です。

★円高の理由も消去法的理由での円高で、日本の状況が良い訳ではありません。日本は世界で一番GDP比での借金の多い国です。将来も少子化で大きな成長も見込めません。そんな中、政府も増税を言い出しています。企業の負担が高いと言って法人税を下げるといっています。だから消費税の増税をするしかないというのです。

★若い方たちは大学を卒業しても仕事がなく、年金を払えず苦しんでいます。増税すれば、社会保障制度も大変な事になります。

★現在年金を受取っているお年寄りの皆さんも経済状況の悪化に伴い年金額が減らされています。その上、増税の負担増です。

★URも今年から家賃の値上げを言い出し更なる負担増です。何としても『歴史上初!』の家賃値上げを阻止! 今回の値上げ決定の撤回! を求め、今後も自治会の活動を通じて実現しましょう。

UR都市機構・東京東管理センターとの

定例懇談会



7月26日、東京東管理センターとの懇談会を行いました。団地生活での様々な問題を話し合いました。40年たつてゴミ、ねずみ、たむろなど問題が深刻化してきています。今後もこれらの問題の解決を要望しました。

1 継続家賃の10月からの値上げに反対します。

現在の経済状況での値上げは正統性がない。値上げをやめてください。

(答)住宅管理センターとしては家賃について答えることが出来ないで本部に要望を伝えます。

2 管理が民営化されたが大丈夫か？

管理が民間に移りましたが、住宅の管理が適切に行われるように頑張ります。

(答)民間移行により、当初、至らぬ点が多々ありご迷惑をお掛けしましたが、だいぶ順調に業務がこなせるようになって来た。引き続き居住者のためにご迷惑を掛けない様にしていきます。今後とも忌憚りの無いご意見を頂きたい。

3 ゴミ問題

①生ゴミがゴミ置場の前に出され、粗大ゴミなど放火の危険もあり、適切に対処してほしい。

(答)大きな燃えるゴミ等が1階ホップ前に放置されている。1階に燃えるゴミ置場を確保するために、粗大ゴミ置き場やダンボール置き場の配置も含めスペースの有効活用をしていきたい。粗大ゴミ置き場を団地内1カ所に集約したい。5号棟のピロティを考えている。(自治会より)ティーパーティーとの話し合いの機会を設けて欲しい。日程を打ち合わせたい。

4 自転車・オートバイ問題

①松坂屋ストアの囲いは何とかしてほしい。また夜には新大橋側は自転車が通れない。対処してほしい。

(答)昨年度、松坂屋前の放置自転車対策として、処分、仮囲いをして一定の成果があった。全体の空間の改善案を提示して環境設計をしていきたい。(秋口には提案出来るようにしたい)新大橋の車止めは看板をつける等の改善をしていきたい。松坂屋との話し合いでは「新大橋通り側の自転車置き場はいらぬ」と主張しているのでもスペースを無くす方向で検討したい。

②2号棟1階通路を疾走自転車防止柵ですが、動かさないようにしてほしい。

(答)通路に柵を設置し一定の効果があった。水を入れて動きにくくしている。非常時の通路を考え動かせる様にしている。ただし自動扉の入口は固定柵にしたい。

③2号棟新大橋側の植え込みに自転車がおいてある。置けないようにしてほしい。

(答)気が付き次第撤去等対処してゆきたい。

④不用オートバイの撤去してほしい。

(答)不用バイクのリストアップをしている。これからすすめる。

5 修理・修繕・その他

①耐震チェックですが、現在の基準では号棟によって危険との話を聞いたが、どうなのか。家の中の耐震診断はどうなっているのでしょうか。

(答)棟毎に耐震改修の診断済みで、2・3・5・6号棟は耐震改修が必要、1・4・7号棟は改修必要なしで、改修の順番を決めている。計画がまとまり次第連絡をしたい。耐震診断は住棟単位で行うもので、各住戸単位の診断は対象になりません。

②1号棟ロソソ前にたむろし汚染したり、朝から数人でアルコールを飲むなど不愉快な思いをしています。防犯カメラをつける、立て札を立てる、注意をする、保健所と連携する等対処を早急にしてほしい。

(答)スペースを無くすため、柵を作り、たて看板(手配中)をつくり排除していきたい。

③空き家にチラシ等が一杯になっている。放火の危険もあり、封鎖等処置をしてほしい。

(答)部屋の新聞受けや郵便受けを対処済み。もしまだあるようでしたら連絡してください。

あるようでしたら連絡してください。

④植木の手入れをしてほしい。笹とやぶからしの対処。イチヨウは切りすぎではないのか。

(答)笹とやぶからは8月に対処したい、剪定は調整して対処したい。

⑤共用部分の床の清掃回数が増えているのではないだろうか。

(答)過去していたポリッシュは2ヶ月に1回にしている、毎月洗淨モップによるワックス塗布をしている。

⑥5号棟たばこの焼け焦げをきれいにしてほしい。

(答)調査をした。シートの張替えでは同じ結果を招くだろう。焦げ跡が着かない素材の選定、予算の関係も含め本部と協議します。

6 安心・安全

①放射能問題で特に子供たちが遊ぶ砂場、また水道

安全性を確かめてほしい。

(答)URとしては放射能測定を実施する予定はありません。(自治会より)砂場に猫が入れないように柵をして欲しい。子供たちのために、砂場の放射線量の測定をして欲しい。

②AEDの設置をお願いします。

(答)機構として現時点でAEDの設置は考えておりません。自治会で設置する場合は場所の提供は可能です。

クリーンメイトさんからのお願い

1. 粗大ゴミの出し方

- ・粗大ゴミ受付センター (☎5296-7000) へ連絡してください。
- ・品物によって粗大ゴミシール(松坂屋ストアで売っています)の値段が違いますので必ず確かめてください。
- ・粗大ゴミシールには必ず、号棟・号室、名前、日時等を記入して張ってください。

※記入がない場合には持っていかないそうです。

2. ゴミの分別をお願いします。

(分ければ資源、分けなければゴミ)

- ・ビン・缶・ペットボトル別々にして出してください。
- 3.ダストシュートには生ゴミ・燃えるごみを細かくしてつまらないように出してください。

※細かくしないと途中で詰まってしまう。皆様のご協力をお願いします。

政府の動き

国土交通省が都市機構の改革に係わる工程表を発表

★2011年7月1日国土交通省は「都市機構の改革に係わる工程表」を発表し「効率的な組織への見直し、負債の圧縮のため既存住宅の再生、再編を行い、高額家賃住宅の売却を行う」と発表がありました。

★一部には低所得者向け団地は地方公共団体への譲渡借上げの打診を行うとされています。また、住み続けられる家賃制度の確立については全く無視し、定期借家制度の拡充を行い、今年度より空家人居を定期借家契約だけにしようとしています。いずれにしても「民営化により」居住環境の悪化は避けられず、居住者の人権を無視した横暴な内容となっております。

ご利用下さい サポートグループろくだん

—会員同士の助け合い活動—

申し込み先

(世話人)		
木村敬子	☎3637-2597	4-822
太地 宏	☎3683-9956	2-1224
久木田衛	☎3685-3119	6-435

※利用希望者は、世話人に電話で申し込んでください。

- 利用料金 1回 300円(30分~1時間30分以内)
- 利用内容 **イ**、買い物 **ロ**、掃除・洗濯 **ハ**、食事づくり **ニ**、通院の付き添い **ホ**、薬の受け取り **ヘ**、家具移動 **ト**、小修理 **チ**、電気器具の取替え **リ**、話し相手 **ヌ**、散歩・外出の付き添い **ル**、初心者パソコン指導 **ヲ**、子守り等幼児の世話 **ワ**、その他(裁縫、日曜大工、アイロンかけ、囲碁)
- 利用時間 原則として、午前9時~午後5時まで

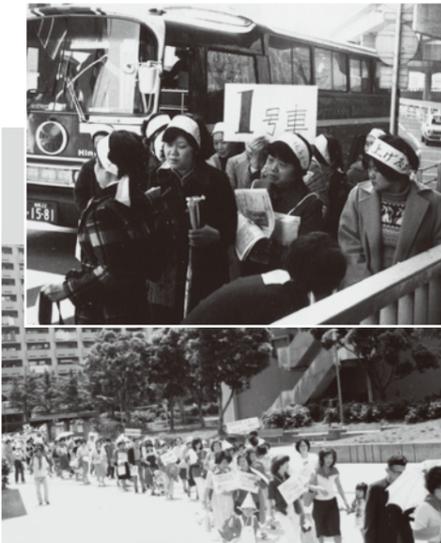
自治会40年をふりかえる

中島政幸会長に聞く



家賃値上げ 反対で大闘争

第2回



たくさんのバスを仕立てて公団本社へ家賃値上げ反対の抗議に行った

公害対策、騒音対策

公害対策部があるほどですから、大きな問題だったのですか？

三菱製鋼跡地にできたのが六丁目団地です。当時大島は工場地帯ですから、亀戸の方からみると煤煙で大気が汚れてみえました。「住むところではない」というのが、当時の印象でした。

だから、大気汚染調査などもずいぶんやりましたし、「6個クローム」が埋められていないか、調査をしました。高速道路の騒音対策として、道路公団と粘り強く交渉を重ねて、防音壁を高くさせるとともに、7号棟の高速道路側を二重窓にし、クーラーの設置を実現しました。また、都営新宿線の地下鉄工事にもなる騒音対策として、1・2号棟南側に二重窓を設置させました。

このように、ずいぶん運動をやって、相当の成果をあげることができたのです。

大島地区自治会連合会

地域との関係では、大島地区自治会連合会に参加して、今は中島さんが連合会の会長をされていますね。

「ふるさと大島」を住みよい地域にするために、公団住宅や都営住宅など集合住宅の自治会が、いっしょになって1971年に「大島地区自治会連合会」を結成しました。

当初、初代松岡会長の判断で連合会に加盟する意向だったのですが、役員会や総会の確認がなかったということ、松岡さんは会長を辞任し、連合会加盟も白紙になりました。その後、正式に加盟をし、現在は13自治会が参加しています。自治会連合会は町会連合会とともに、大島地域の区民まつりなどの取り組みを行っています。公団の家賃値上げ反対の区議会請願なども協力してくれたいです。

共益費値上げ反対から家賃値上げ反対へ

さて、家賃問題ですが、75年ころから値上げの動きがあったのですか？

自治会のあゆみをみますと、75年10月に、「共益費値上げに反対する会」を、「家賃値上げ阻止・共益費値上げに反対する会」に改称して、家賃値上げ反対運動にも活動を広げています。共益費問題では、前回もべましたが、公団との徹夜交渉なども行って、共益費の値下げを勝ち取っています。77年には、共益費の対象となる清掃面積に「水増し」があることが発覚して、公団側は入居時にさかのぼって共益費を減額し、謝罪文を住民に配布しました。

こうした共益費の運動で、自治会への信頼が高まっていたと思います。

家賃の値上げは契約違反ですよね。

数年間の傾斜家賃で最終家賃までいったら、あとはそのままの家賃でいくはずでした。最終家賃とは、六丁目団地の建設費を60年で払いきるという計算で決められたものでした。だから当時は、「こんご何十年か、家賃を払い続ければ、自分の所有になる」という話もあったほどでした。ところが公団側は、全国の公団住宅の「家賃のプール制」ということを言い出して、新築住宅も含めて、全国の居住者の家賃で賄う、と言いつつ出たのです。

「うらぎられた」という思いは強かったですから、みんな怒ったのです。

値上げ通知へ怒りの大行動

公団は、78年4月からの家賃値上げを通知してきました。六丁目団地自治会は、「値上げ通知返上」をよびかけて、2000名の値上げ通知を公団本社にもつていきました。2月2日、バス6台で300人、2月21日、バス10台で500人、3月28日、雨のなかをバス15台で800人が、九段の公団本社へ抗議に押し掛けたのです(上の写真)。

三次にわたる行動は、「反対する会」が提起したもので、すから、15台もバスが出せるのか、自治会役員会で異論も出て、議論をやり直したこともありました。

家賃を管理事務所へ

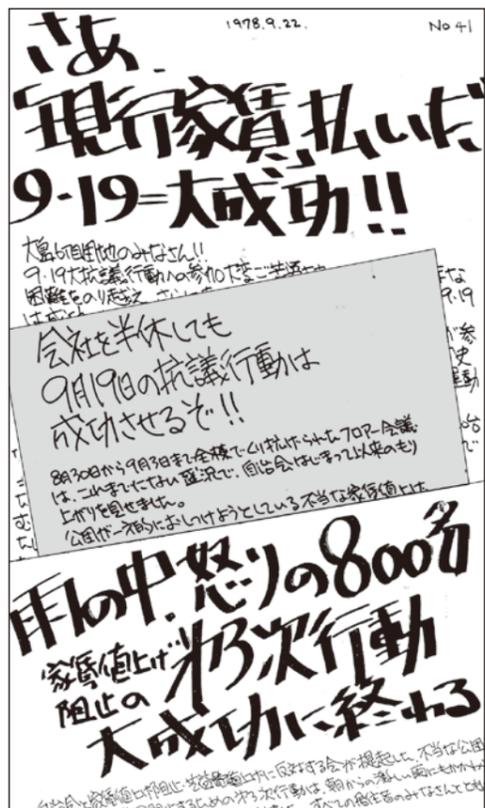
公団は78年9月1日から、家賃値上げを実施。私たちは、9月19日、バス20台、1100名で公団本社に抗議にいきました。そして現行家賃を管理事務所にもつていく運動を進めました(右のピラ写真)。全国自治協は、当初、家賃の供託と裁判闘争を提起しましたが、六丁目団地は参加しませんでした。その後、全国自治協は裁判闘争を取りやめ、家賃問題委員会を協議することになりました。

六丁目団地でもその後、供託・裁判闘争をした居住者もいましたが、その後のことは聞いていません。私も長いこと、管理事務所に家賃をもつていく運動を続けたのですが、値上げを撤回することはできませんでした。

当時、公団にうらぎられた思いで、マンションなどに転居した方もかなりいました。

一次、三次、四次、五次の値上げ反対運動

当時の運動はすごかったですね。六丁目団地の運動はたいへんなものだったのですが、全



現行家賃を管理事務所に直接届ける運動を呼びかけるピラ

国の自治協とは共同歩調がとれなかったのが、突破できなかった原因の一つかと思っています。私も、運動方針をめぐって激論をしたものですから、自治会の会長を引き受ける羽目になりました。

その後、83年に二次値上げ、88年三次値上げと、5年ごとに家賃値上げが提起され、そのつど、全国の居住者と力をあわせて反対運動をしてきました。91年には四次の値上げとともに、3年ごとの家賃見直しという方向が出されました。地価の動向で家賃の値上げをするのはおかしいと論陣をはり、値上げの阻止はできなかったけれど、消費税を家賃にかけることは止めさせました。

95年には五次の値上げを半年間延ばさせましたが、阻止はできませんでした。

市場家賃の導入

日本住宅公団が、80年には「住宅・都市整備公団」に変わっていますね。

勤労者に良質な住宅を提供するという住宅公団の目的が変わってきたと思います。そういうなかで、公団住宅への財政投入(公団住宅の建設費の財政投融資資金の金利が高いことから、国の一般会計から1400億円ほどを利子補給金として繰り入れていた)は問題だと、国会で追及したのが、前首相の菅直人氏。

それをきっかけに、公団見直し議論から、「都市基盤整備公団」という名前に「住宅」のない新公団が、99年10月に発足しました。その時に、近傍同種家賃に準ずるといって、市場家賃原則を、新公団の法律に書き込んだのです。

その結果、2000年4月、六丁目団地では最高6000円の家賃値上げ、03年4月、同じく最高6000円の家賃値上げ、06年4月最高5000円の家賃値上げと、3年ごとにたいへんな家賃値上げが続くことになったのです。

「値上げされたら住み続けられない」という悲鳴が上がりましたし、実際、多くの居住者が六丁目団地を去りました。928通の値上げ反対要請ハガキを出したり、市場家賃は止めてほしいという三言ハガキも出しました。

住み続けるために、自治会は、家賃の値上げに反対し、市場家賃という考え方を止めて、「収入に応じた家賃」にするように、運動をづけます。(以下次号へつづく)



2008年12月4日 全国公団住宅居住者総決起集会

住み続けるために

ひとり分の年金だけでは、10万円を超える家賃を払うと、暮らしていけないなあと感じています。

そうですね。ほんとうに大変です。若い人もいまは大変だし、年金暮らしの人でもこれ以上の負担には耐えられないでしょう。

住み続けるために、自治会は、家賃の値上げに反対し、市場家賃という考え方を止めて、「収入に応じた家賃」にするように、運動をづけます。(以下次号へつづく)

震災救援ボランティアに参加 ナレンさん、ヘマントさんら10人

この六丁目団地にも、大震災・大津波の被害にあった宮城県亶理町の避難所へ、5月、6月と、日曜日ごとに救援ボランティアに参加した方々がいます。自治会役員であるナレンさん、ヘマントさんたちが、国際的なボランティア団体である「フード・フォー・ライフ」の呼びかけに応じて、インド人の仲間によびかけて参加しました。日本人の方もたくさん参加しています。ナレンさん、ヘマントさんはそれぞれ、自分の都合にあわせて2日間ずつ参加。6月12日は六丁目団地から10人のインド人が参加しました。

船堀にあるインドの寺「イスコン」がボランティア活動の拠点。土曜日に集まって食材の準備などを行い、日曜日の朝早く、40人ほどが車に分乗して出発。亶理町の数カ所の避難所に分かれて、昼食を提供。カレーやチャーハン、ケーキなども用意。野菜や果物も持っていき、とても喜ばれました。



ボランティア集合



荷物の積みこみ



食事の提供

10年度の活動報告と11年度活動方針の提案があり質疑、討論、採決が行われました。その後10年度の会計報告監査報告のあと11年度の予算案が提示されました。予算案についての質疑、討論、採決が行われました。質疑のなかで当六丁目団地からは活動方針として「ショッピングの活性化、入居店舗の選定をしっかりと欲したい！」や予算案では「23区自治協の

川柳・短歌コーナー

川柳・短歌を募集します。自治会事務所ポストへご応募ください。掲載された作品には記念品を差し上げます。

作例
炎天下 瓦礫を撤去 勇者たち
放射能 稲ワラ喰べて 牛悲し
節電も 笑顔で明るく 照らします



ゴーヤが実りました！

7月22日から8月23日のうち7日間行われました。二大中PTA、都営大島六丁目アパート自治会、三丁目自治会、三丁目自治会の皆さんとともに午後9時30分から2コースに分かれて巡回しました。自転車の無灯火などがありました。

夏期パトロール実施

敬老の記念品をお届けします

今年の敬老のつどいは中止いたしますが、記念品をお届けします。70歳以上の方が対象です。今までに自治会から敬老の案内状が届いていない方は自治会事務所までお申し出ください。

対象：昭和16年12月31日までに誕生された方で、自治会費を納入されている方。
締切：9月15日(木)
自治会事務所：3636-6470
午後1時～5時(金・日・祝日休み)

全国自治協第38回定期総会開かれる

6月18・19日に群馬県安中市で開催されました。122団地300人の自治会代表と役員が参加しました。総会は地震国日本で持ち家政策を進め、公団住宅後退・縮小を図ってきた政府への反省を求め、住宅政策転換の必要性を明確にしました。総会決議では「公団の売却・民営化を許さず、公共住宅として継続させること」「継続家賃値上げの10月実施を取りやめ、『家賃改定ルール』を見直し、収入と負担能力に合った家賃制度の確立の要求」など8項目が決議されました。総会では東日本大震災への対応、家賃値上げ問題、閣議決定された公団住宅売却・民営化問題、団地管理競争化問題など活発な発言がありました。安心して住み続けられる公共住宅として今後も継続させるために役割を果たすことが確認されて総会は終了しました。



東京23区自治協の会議報告

★2011年6月5日、分担金は自治会の組織毎年恒例の「東京23区公団住宅自治協協議会、第32回定期総会が江東区のテイアラ江東で行われ、六丁目団地自治会より幹事中心に10名で総会に参加しました。当日、議長、書記、議運の選出のあと会長挨拶、国会議員の来賓挨拶がありました。

★7月8日23区東・城北ブロックの会議が当六丁目団地で行われ、23区総会、全国総会の総括のあと、住宅事情の情勢発表や総会決定事項の具体化のために、アンケートの実施や7月1日に発表された「国土交通省発表の公団民営化のための工程表について議論がありました。六丁目団地からは地元と言う事で多くの役員が出席、会議が終了しました。

自治会活動日誌

6月	23日 ショッピングセンターとの話し合い	24日 ローソンとの話し合い	25日 七夕飾りつけ	26日 防災対策委員会	30日 幹事会(7月)
7月	3日 防災対策委員会幹事会	4日 東京23区自治協幹事会	5日 区民まつり北部地区実行委員会	7日 サークル会議(40周年)	8日 二大中地区懇談会。東京23区自治協
	東・城北ブロック会議(六丁目団地)	9日 第5回棟代表者会議	10日 大島三丁目団地自治会との懇親会	17日 青空市例会	22日 夏期パトロール
	23日 広報部会	26日 東管理センターとの懇談会 夏期パトロール	31日 自治会40周年実行委員会	8月	2日 夏期パトロール
	5日 5号棟班長会	9日 夏期パトロール中間報告会	14~21日 自治会事務所夏休み	16日 夏期パトロール	18日 夏期パトロール
	19日 広報編集会議	23日 夏期パトロール 生活・環境部会 家賃値上げ反対で地元選出議員への要請	25日 臨時棟代表者会議	29日 広報校正会議	